

特許紹介

特 許 / 第1771614号
発明の名称 / **電気温風機**
発 明 者 / 法月仙一郎
山下 直治

〔従来技術とその問題点〕

従来、家庭用温室の保温用として使用する電気温風機は、例えば図1で概略的に示すように、ケース内に送風機とヒータとを取付け、ケースの上部側に吸入口と排出口とを形成したカバーを被せ、吸入口から吸入した外気をヒータにより温めて排出口から排出させることにより、温室を暖房するように構成されていた。

ところが、上記構造の電気温風機は、送風機やヒータ等電気部品の取付け及び電気配線を行う場合、すべて狭いケース内でネジ等の固定手段や配線金具を用いて組立作業を行っていたので、組立作業に手間がかかり製造コストを高くする問題があった。

〔発明の構成〕

この発明は、図2、3のように、金属材料を押し出し加工により角筒状に形成したケース部材を必要な長さに切断してケースを設け、このケース内に、あらかじめ別工程で組立しておいた送風機やヒータからなる温風機本体を、ゴム等の緩衝材を用いて嵌め合い方式で挿入固定し、ケース前・後部の開口部にフロントカバー、リヤカバーを被せることによって、温風機が組立てられるようにした。

〔発明の効果〕

- (1) ケースと温風機本体は緩衝材の介在により、一動作でケースに揺動不能に組込むことができるので、利便である。
- (2) ケースと温風機本体は、ケースの前・後部の開口部に被せたカバーによってネジ等の固定手段を用いることなく固定できるので、電気温風機の組立作業を能率的に行うことができる。

(宮地記)

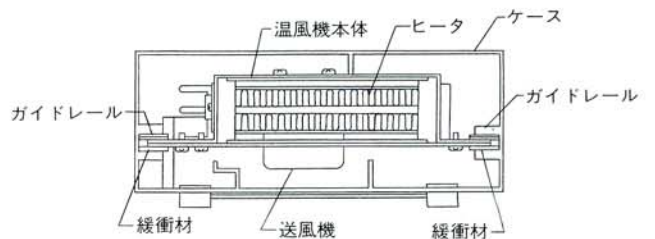


図2 / 電気温風機の断面図

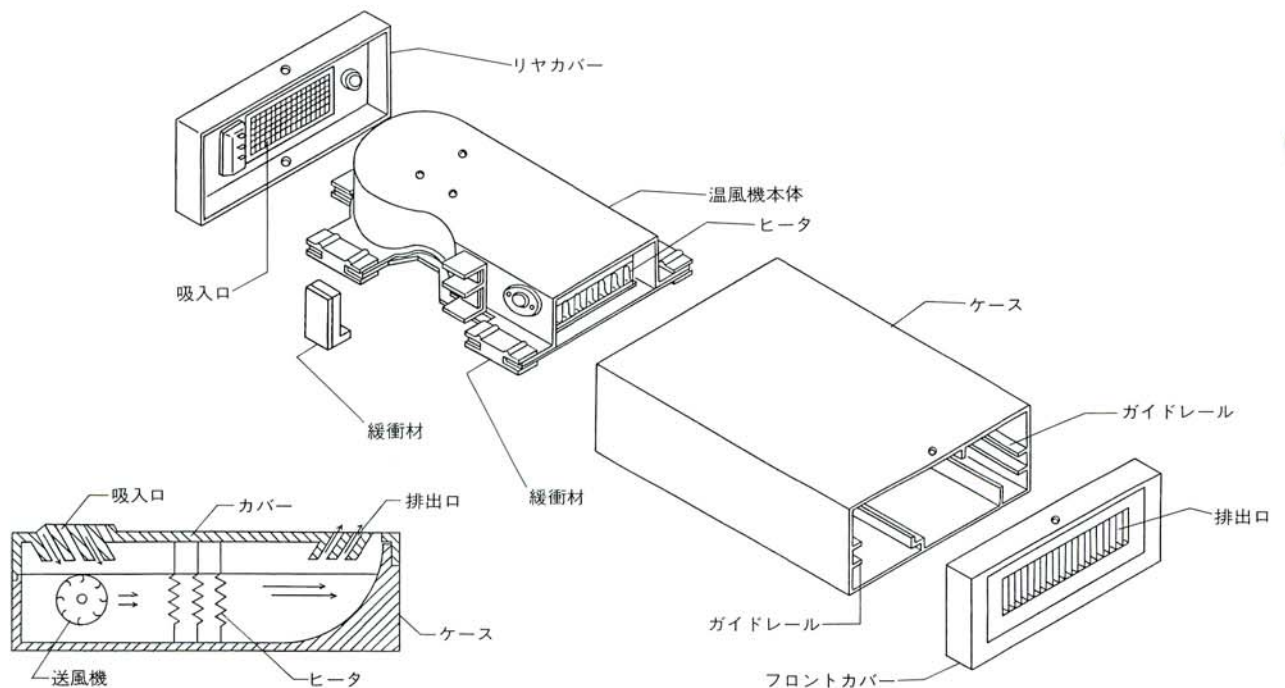


図1 / 電気温風機の断面図 (従来)

図3 / 電気温風機の分解図